

子どもの権利カタログワーキンググループの進捗状況について

1. ワーキンググループメンバー(※敬称略、50音順)

相川 梓、相川 裕、窪寺 真理、齋藤 直巨、田谷 幸子、野村 武司、宮川 学

※第3回打合せには望月 海主委員が参加

2. 打合せ実施日

第3回 令和3年4月6日(火) 18時00分～20時00分

議題:子どもの権利の規定について 等

3. 議論の進捗

(1) 子どもの権利に関する事項について

<検討の方向性>

子どもの権利に関する以下の事項を盛り込むこととする。

※下線部は前回の審議会における報告資料から変更する事項

網掛けは審議会にて議論、意見交換を行いたい事項

① 子どもの権利に関する一般原則

◆ 生命、生存、発達の権利

キーワード:命が大切にされ、それぞれ個性が尊重され、健やかに育つ

◆ 意見表明権

キーワード:自分の意見を言い、思いや考えを表すことができ、大人はそれを尊重する。どんな小さな子どもでも。

◆ 子どもの最善の利益

キーワード:子ども一人ひとりにとって最もよいことを。

◆ 差別の禁止

キーワード:すべての子どもが誰一人取り残されることなく、等しく、、

上記に加え、SDGsの観点、貧困に関する観点を一般原則に盛り込む。

② 個別に規定すべき事項

《あらゆる場面で》

◆ 子ども一人ひとりが主人公として大切にされ、誰一人取り残されないこと。

- ◆ 子どもは自分に関することを知り、自分の思い・考え・意見を表すことができ、どんな小さな子どもでも、それらが尊重されること。
 - ◆ 子どもにとって最もよいことが実現されること。
 - ◆ 休み、遊び、成長すること。
- ※障害や外国籍の人に関する記述を加える。

《家庭で》

- ◆ 子どもは誰でも家庭的環境の中で育つことができること。
 - ◆ 家庭は支援を受けることができること。
- ※様々な形の家庭の存在について記述を加える。

《育ち、学ぶ施設・団体で》

- ◆ 一人ひとりの尊厳が守られ、子どもの思い、考え、意見が尊重される。
- ◆ 子どもはどんな軽微なものであっても暴力を受けず、いじめを受けず、安全で安心できる環境を保障されること。
- ◆ 一人ひとりの個性が尊重され、一人ひとりの学ぶ権利が保障される。
- ◆ 育ち、学ぶ施設・団体に関わる大人は、沢山のことを一人で抱え込むことなく、子ども一人ひとりと向き合い、その成長を支えるために必要な支援を受ける。

《地域・社会で》

- ◆ 子どもが休んだり、遊んだり、一人でまたは集まって活動したりすることが保障される。
- ◆ 子どもは、自分たちに関わることについて参加することができる。
- ◆ 子どもの成長を支える活動に関わる大人は、その活動を継続、活性化させるために適切な支援を受けられること

(2) 条例の前文について

ワーキンググループの各メンバーが、条例の前文に盛り込みたいキーワードや気に入ったフレーズを検討し、共有した。

4. 今後の予定

第5回審議会での議論を踏まえ、次回打合せにおいて、前文に掲載する事項のコンセプトを議論する。